

町民の皆さんへ

3月11日午後2時46分に発生した「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆さんには、心からお見舞い申し上げます。町内では、幸いにして人命を失う事態を免れることができました。このことは、町消防団や自主防災組織をはじめ、多くの町民が「結いの心」を持って助け合い、一丸となって警戒や避難に取り組んだ結果にほかなりません。ご尽力いただいた皆さんには、深く感謝と敬意を表したいと存じます。

しかし、近年に類を見ない大津波の襲来により、町沿岸部には甚大な被害が及ぼされ、被害額は目を追って増している状況です。早急に調査を進めるとともに、国や県からの支援を仰ぎながら、町として可能な限りの対策を講じてまいりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。一日も早い復興に向け、ともに取り組んでまいりましょう。

洋野町長 水上信宏

p02-13
緊急特集◎東北地方太平洋沖地震

3.11の爪痕

p14-17
平成23年度
町の方針と予算

p18-21
平内小と大野二中が閉校

p22-25
雇用対策を進めています
福祉タクシー助成券・おおの健康の湯優待券
4行政区が統合 新行政区は「水沢」
町職員の人事異動

p26-27
まちの話題

p28-31
暮らしに役立つ情報ファイル

p32
むし歯のない子紹介
編集後記



平成23年3月11日午後2時46分、
本町で震度4を観測した「東北地方太平洋沖地震」。
地震により発生した大津波は、同日午後3時35分ごろ第1波が町沿岸部に襲来。
高波が繰り返し押し寄せ、多くの施設や設備を飲み込みました。
国内観測史上最大のマグニチュード9.0の地震による大災害で、日本国内の死者は1万人超。
町内では、幸いにして死者はありませんでしたが、
津波による損壊や流出など、被害状況の全容はいまだ確認できない状況です。
今月の特集では、災害が町に残した大きな爪痕と、その後約2週間の町の現状を記録します。
災害の恐ろしさを忘れることなく後世に伝え、
いつまた起こるか分からない災害による被害を、最小限に食い止めるために――。(特集13ページまで)

↑種市漁港を襲った第2波。第1波で大破した漁港周辺の施設や設備の多くを流出させた(3月11日、16時05分)

↓大津波が押し寄せる直前の種市漁港(3月11日、15時30分)



緊急特集◎東北地方太平洋沖地震

3.11の爪痕

おことわり

「東北地方太平洋沖地震」の発生により、通常の紙面を大幅に変更して発行することにご理解願います。また、関係省庁の発表などに基づく記事の内容が、本紙印刷後に訂正される場合があることをご了承願います。

津波襲来、その瞬間

町沿岸部に大津波が襲来した瞬間、広報係は種市漁港そばの高台にいました。その場で目撃した人にしか分からない現場の状況を、できるだけ詳しくレポートします。この記録が津波のすべてとは言えませんが、ひとつの事実として皆さんの記憶に残してもらえれば幸いです。



聞き慣れぬ着信音

3月11日の午後、広報係の佐々木と滝口は、4月号の裏表紙にふさわしい「春の訪れ」を求め、大沢農村公園に。ほかに誰もいない静かな公園での写真撮影中、ほぼ同時に2人の携帯電話から聞き慣れぬ着信音が響きました。午後2時46分、メールの内容は「緊急地震速報」。2日

前の3月9日に出た津波注意報でも事なきを得ていたため、「またか」と高をくくつて話していると、間もなくゴゴゴゴツという地鳴りが聞こえ始めました。「本当に地震だつ」地面が激しく揺れ、遠くからもアグリパークおおさわの透明アクリル板が波打つのが分り、近くの電柱や木は大きく揺れ続けます。「津波来るかも」「やばい」

揺れる地面の上をヨロヨロと歩いて車に乗り込み、種市庁舎に向かいました。

干上がった浜の姿

走行中も「ハンドルから揺れが伝わってくる(滝口談)」状態で車を進めるうち、カー

ラジオが「大津波警報」の発表を知らせます。「津波注意報」や「津波警報」ではなく、めつたに耳にしない「大津波警報」。防災無線から聞こえてくるのは、沿岸住民への「避難指示」。「避難指示」は、「避難勧告」よりも拘束力が強い、最も危険度の高い災害発生時に出される指示。嫌でも不安が高まります。

午後3時、種市庁舎は停電。種市保育園の園児たちが避難する列とすれ違い、種市保育園の高台へ。種市漁港では、警戒に当たる消防団員たちが心配そうに見守る中、漁船が次々と沖合いへ避難していき

ました。30分ほどが経過し、このまま何もなければと思い始めたころ、「潮が引けてきた」との声が。みるみるうちに潮位



種市漁港から沖合いへ避難する漁船 (15時06分)



潮位が下がり、干上がり始める浜 (15時27分)



鹿糠漁港付近に打ち寄せる津波 (15時34分)



引き波が防波堤からあふれる (15時38分)



港内のほとんどの物が流出した (16時42分)

が下がり、干上がった浜にはウニの増殖溝や橋がはつきりとその姿を現しました。誰かが「こんなに(潮が)引けると危ないな」と言いました。

叫ぶ声波に消され

「鹿糠のあたりが白い」と誰かが叫んだのは、午後3時34分。カメラを向けると、津波が白いしぶきをあげて陸に激しく打ち寄せ、グオーングオーンと何度も低く鈍い反響音を響かせてこちらに近づいてきます。

それに気を取られていると「こつちも来た」との声。種市沖を見ると、津波はもう間近に。防波堤にぶつかっても勢いは衰えず、種市漁港周辺を一気に丸飲み。防潮堤を越えた津波は種市保育園脇の高台の間近までしぶきをあげ、はまなすマラソンコースの道は一気に冠水。漁港内では電柱がドミノ倒しのようになぎ倒され、漁具やがれきは土砂が混じった黄色い波と渦を巻き、港内に残っていた漁

船や作業小屋、軽自動車などはギシギシと音を立ててぶつかり合いながら、損壊した北側の防波堤を越えて流出。船の持ち主らしい男性が漁港に駆け寄って叫ぶ声も、引き波の音に消されていきました。第一波がおさまり、全身に力が入って体が硬直した状態でシャッターを切っていたことによりやく気付き、広報係は安全のためもう少し高いうなばら荘の敷地に移動。防波堤が損壊した港内を見渡すと、さつきまであった作業小屋は跡形もありません。逆さになった漁船や倒れた電柱、コンテナやがれきなどが無残に散らばっていました。

「はあ許してける」

津波がようやくおさまったかに思えた午後3時54分ごろから、潮は再び大きく引き始めました。

そして4時01分、第2波が襲来。第1波と同程度の高さの津波は再び漁港周辺を飲み込み、かろうじて防波堤に引つ掛かっていた漁船や漁

表)「東北地方太平洋沖地震」における町の主な被害状況 (町防災推進室調べ、3月23日現在)

区分	件数	被害状況
人的被害	0	死者0人 負傷者0人 行方不明者0人 避難者417人(最大時) ※避難所は3月21日に閉鎖
建物被害(住家)	30	全壊5棟 半壊15棟 床上浸水2棟 床下浸水8棟
船舶	192	流出・損壊
その他		大浜川JR鉄橋流出 漁港施設損壊 防波堤損壊 道路冠水 定置網流出 養殖アワビ流出 ほか多数

は我に返りました。町の被害状況を後世のために記録しなければ。

次々からは、津波襲来直後から町沿岸部を中心に撮影した写真で、町内の被災状況をお伝えします。幸いにも人的被害はありませんでしたが、11カ所の避難所に最大417人が避難した沿岸部の被害は甚大。192隻の船舶が流出・損壊し、すべての漁港で防波堤や施設・設備の損壊があり、被害報告は日を追って増加。被害の全容は、いまだ把握できない状況です。

なお、町が3月23日までに把握した町内の被害状況は、左表のとおりです。

■八木地区（八木北港・八木南港・八木駅・大浜橋）



国道45号の数十メートル手前まで押し寄せた津波は、八木漁村センターの1階部分を完全に飲み込んだ（11日、17時20分）



八木南港周辺では多くの建物が損壊（12日、10時37分）



JR八戸線の線路が流出。踏切も損壊（12日、9時34分）



住宅などの建物が損壊し、道路の舗装も流出（12日、9時50分）



八木南港の防波堤に打ち上げられた漁船（12日、10時13分）



JR八戸線八木駅付近で横転した作業用車両（12日、10時48分）



損壊した町営八木魚市場（13日、9時52分）



JR八戸線の鉄橋、町道大浜八木線の橋が崩壊（12日、9時17分）



津波は大浜川を登った（11日、17時18分）

■種市漁港・種市海浜公園周辺



種市漁港から流され、護岸にぶつかる漁船（11日、16時27分）



損壊した種市海浜公園のシーサイドハウス（12日、7時39分）



ほぼすべてが流された種市海浜公園の遊具（12日、7時55分）



陸に打ち上げられた漁船。海には漁船やプレハブ倉庫の破片などがれきが散らばる（14日、9時02分）



損壊した種市ふるさと物産館。流れ込んで積もった砂の中にはお椀が埋まっていた（12日、7時24分）



損壊した種市ふるさと物産館。流れ込んで積もった砂の中にはお椀が埋まっていた（12日、7時24分）



県栽培漁業協会種市事業所は、ウニなどの種苗を育てる水槽が流出。建物も損壊した（12日、7時17分）

町沿岸部に甚大な被害 大津波が残した爪痕

人命に関わる被害がなかったためか、テレビや新聞ではあまり報道されなかった町沿岸部。しかし、その被害は甚大です。漁業者の皆さんも漁港の片付けに精一杯で、他地区の被害もよく分からずにいるようです。そこで、地震直後からの写真で、被害の状況をお伝えします。

■角浜漁港



複数の漁船が転倒。防波堤などが損壊
(12日、6時40分)

■川尻漁港 (平内)



複数の漁船が転倒。物揚場が損壊
(12日、6時29分)



損壊した建物 (12日、6時28分)

■川尻漁港 (川尻)



複数の漁船が転倒し、建物も損壊した
(12日、14時15分)



建物が流され、漁具が浮かぶ港内
(12日、14時21分)

■有家 (有家駅周辺・有家漁港)



施設が流されたサケの孵化場
(12日、11時44分)



全壊した住家 (13日、11時24分)



川へ落ち、分断したJR八戸線の線路
(13日、11時30分)

■鹿糠・玉川・戸類家



鹿糠漁港 (鹿糠)。損壊した付近の建物
(12日、14時42分)



鹿糠漁港 (玉川)。護岸が損壊
(12日、14時53分)



鹿糠漁港 (玉川)。作業施設が流出
(12日、14時55分)



戸類家漁港。建物や漁船が損壊した
(17日、13時27分)



損壊した和座川橋 (11日、17時04分) ※現在は通行可

■小子内漁港



損壊した防波堤 (13日、10時55分)



流されて仰向けになった車。奥の建物も損壊
(13日、10時50分)



海岸には、大量のウニが打ち上げられた (13日、10時58分)

■高家漁港



崩壊した道路 (13日、12時06分)



転倒した船の引き上げ作業 (13日、12時04分)



跡形もなくなったサケの孵化場
(13日、12時09分)

■宿戸漁港



荷さばき施設が損壊。手前は流された洗濯機 (12日、8時55分撮影)



記念碑が転倒。奥に見える北側防波堤も損壊 (12日、8時55分)



仰向けになって道をふさぐ小型船
(12日、9時06分)

災害関連のお知らせ

3月28日現在で、町が把握している災害関連の情報をお知らせします。なお、最新の情報は町ホームページにも掲載しますので、合わせてご覧ください。町外の被災地と共通する情報もありますので、まだ情報が少ない被災地の知人への情報提供にも役立つかも知れません。

ライフライン

ライフラインの復旧状況は次のとおりです。

- 水道 異常なし
- ガス 異常なし
- 電気 一部停電（非住家107戸）
- 電話 一部不通（戸類家庭区）※NTTの電話故障についての問い合わせは「113」で受け付けています（携帯電話からは0120・444・113）
- 燃料 安定的な供給に至っていません。燃料の節減について、皆さんのご協力をお願いします
- 問い合わせ先 役場総務課 防災推進室（種市庁舎3階） ☎65・5918 ※総合的な窓口となるため、対応は各部署などにおつなぎします

災害救助法を適用

町は3月11日、厚生労働省から「災害救助法適用市町村」に指定されました。今後、国や県の助成対象として町内で予想される項目は、

- ・住居やその周辺に運ばれた土石・竹木などが日常生活に著しい障害を及ぼすもの除去
- ・罹災住宅の応急修理
- ・医療及び助産
- ・被服、寝具その他生活必需品の支給又は貸与
- ・罹災者の生業に必要な金品の給与・貸与
- ・学用品の給与

などです。助成内容や手続きなど、詳しくは問い合わせください。

■問い合わせ先 役場福祉課（種市庁舎1階） ☎65・5915

ごみ収集を再開

休止していたごみ収集は、通常どおり再開しました。なお、し尿汲み取りは当面制限が続きます。

■問い合わせ先 役場町民生活課（種市庁舎1階） ☎65・5914

選挙期日を延期

4月10日(日)に予定されていた「岩手県知事及び県議会議員選挙」、4月24日(日)に予定されていた「洋野町議会議員選挙」は、いずれも延期されました。選挙期日は未定です。決まり次第「広報ひろの」などでお知らせします。

■問い合わせ先 町選挙管理委員会（役場種市庁舎3階） ☎65・5911

税の申告期間を延長

町は、税の申告受付期間を次のとおり延長して行います。なお、延長期間中の申告受付は予約制となっていますので、事前に電話などで予約のうえお越しください。

■受付期間 4月15日(金)まで（土・日曜日除く）

■受付時間 午前10時～午後5時

税の減免・納期延長

町は、届け出のあった資産の被害調査結果に基づき、固定資産税の減免・軽減・徴収の猶予などの制度を適用する予定です。届け出は電話と役場窓口で受け付けます。固定資産税以外の納税相談も受け付けていますので、不明な点は問い合わせください。

また、例年4月末が納期の「固定資産税(第1期)」と「軽自動車税(全期)」は、5月31日(火)まで延長させていただきます。

■受付期間 4月28日(木)まで（土・日曜日除く）

■受付時間 午前8時30分～午後5時30分

■受付場所・問い合わせ先 役場税務課（種市庁舎1階） ☎65・5913

公共交通機関

公共交通機関の運行状況は次のとおりです。

- JR八戸線 階上～久慈間は運行不可能で、再開のめどは立っていません。町は、JR八戸線の代替運行を要請しています。決まり次第「広報ひろの」などでお知らせします
- 町営バス 通常運行していません ※一部路線のダイヤ変更を予定しています。実施時期が決まり次第「広報ひろの」などでお知らせします
- 岩手県北バス（久慈～陸中大野間、陸中大野～軽米間、おののキャンパス～盛岡間）通常運行しています
- 南部バス（陸中大野～本八戸駅間）通常運行していません ※4月1日から一部ダイヤを変更します
- 問い合わせ先（町営バス以外） 交通機関各社または役場企画課（種市庁舎2階） ☎65・5912、（町営バスに関する） 役場町民生活課（種市庁舎1階） ☎65・5914

通行止めの道路

町道大浜八木線は、橋の損壊により当面の間通行止めとさせていただきます。

また、町沿岸部では順次がれきの撤去を行っていますが、危険な箇所にはなるべく近づかないようお願いいたします。なお、地震の影響による道路の亀裂や陥没、建物の損壊などの危険箇所がある際は、情報を寄せいただきますようお願いいたします。

■問い合わせ先 役場水産商工課（種市庁舎2階） ☎65・5916、または建設課（大野庁舎1階） ☎77・2114

公共施設の休館

種市屋内温水プールは、燃料不足のため当面の間休館させていただきます。

■問い合わせ先 種市屋内温水プール ☎65・5566



東北電力から

東北電力(株)は、被災者に対する電気料金・工事費負担金の免除や支払期限の延長などの手続きを受け付けています。詳しくは問い合わせください。

■問い合わせ先 東北電力お問い合わせ窓口 ☎0120・175・466（受付時間は、月～金曜日は午前9時～午後8時、土曜日は午前9時～午後5時、いずれも祝祭日を除く）

NTT東日本から

NTT東日本岩手支店は、被災者に対する電話料金・移転工事費の免除や支払期限の延長などの手続きを受け付けています。詳しくは問い合わせください。

■問い合わせ先 NTT東日本料金お問い合わせセンター（東北・北海道エリア） ☎0120・032277（受付時間は午前9時～午後9時、土曜・日曜・祝祭日も受け付けます）

ここからからのケア

災害や事故などのショックな出来事を体験した後は、ここからだにさまざまに変化が起こります。これは、日常とかけ離れた衝撃的な出来事に対する正常な反応です。症状の多くは時間がたつと自然と回復していきます。体調に変化がある場合は「食事・睡眠・運動・休息を大切に」、「深呼吸やストレッチ体操でリラックス」、「気持ちや体験を言葉にして誰かに話す」などの対応を心掛けてください。

また、子どもも大人と同じように、ここからだに変化が表れる場合があります。「笑顔で話しかける、抱きしめる」、「話を聞いて気持ちを受け止める」などのことを心掛け、子どもに安心感を与えてあげてください。

ご家族の体調の変化が長引くなど心配なときは、遠慮なくご相談ください。

■相談窓口 種市保健センター ☎65・3950、または大野保健センター ☎77・3576

被災地の子ども支援

「地域子育てサークル★どろだんごの会」は、被災地の子どもたちに贈る支援物資の寄附を次のとおり募集しています。受け付けた支援物資は、県社会福祉協議会と相談のうえ、被災地の子どもたちに届けられます。多くの皆さんの温かいご協力をお待ちしています。

■募集期間 4月20日(水)まで

■募集物資 着なくなった学校指定の運動着、文房具、トランプやかかるたなどの遊び道具、絵本、各種辞典、雑巾

※取り組みに賛同いただける団体からの協力もお待ちしております

■問い合わせ先 同会事務局 下田 ☎090・8612・8979



復興への課題と光明

甚大な被害を受けた町沿岸部。しかし、漁業者の皆さんは、さまざまな思いを抱えながらもすでに復興への道を歩み始めています。被災後の各漁港で伺ったそれぞれの現状と復興に向けての課題、そして、力を合わせて頑張る皆さんの姿から見えた希望の光明をお伝えします。

県沿岸部では最速で再開した八木魚市場（3月25日）



種苗供給が不可欠

3月22日、宿戸漁港では漁協組合員による漁港周辺の片付けが行われていました。同漁港は、「南部もぐりとウニの里」を標ぼうしてきた種市地区のウニ漁でも最多の水揚げ量を誇る漁港です。
種市南漁協宿戸漁業実行部会の吹切信夫（ふぶ）部長は「かなりのウニを陸に打ち上げられたし、海中で砂に埋もれているものもある。今年の水揚げは厳しい」と話します。種苗（稚ウニ）の放流から水揚げまでは3、4年掛かるため、「種苗がないとどうにもならない。少しでも早く種苗を供給してほしい」と願います。
町のウニ漁の復興には、県栽培漁業協会種市事業所からの種苗の供給が不可欠。しか

とにかく収入を

し、全壊した同事業所の復旧の見通しは立っていません。

3月24日は、小子内漁港へ。がれきはすでにまとめられ、漁協組合員はウニの増殖溝などに絡まった網やうきなどを撤去していました。

小子内浜漁協組合長で種市地区漁協協議会の会長でもある畑川吉松（よしかた）さんは「どこも同じだと思うが、小子内の増殖溝からもすつかりウニがないようになった。今まで海に貯金してきた財産を全部持つて行かれたようなもの。まずは定置網から復活させたいが、船がない。業者も流されて船を買って取りもつけられない。ガソリンや購買品をもつと売るとか、とにかく収入を上げる

ことばかり考えている」と吐露。「年金をもらっている漁業者はまだいいが、子育てに金がかかる若い漁業者には切実な問題。頑張っている若者たちのため、国や県、町には復興へのあらゆる手立てを実行してほしい」と訴えます。

県最速で市場再開

3月25日、町営八木魚市場では被災後の県沿岸部では最速で市場が再開され、町内外から集まった7業者との取引引きが行われました。
被災を免れた漁船は23日から少しずつ水揚げを始め、この日は9隻がタコや毛ガニ、ナメタガレイなどを水揚

げ。かううじて柱と屋根を残した市場では、かご不足のためブルーシートの上に魚を広げ、午前10時にせりを開始。水揚げ量が少ないため、せりはあつという間に終わってしまいました。久慈市の水産業者は「やっつけるのはここだけ。商売ができるのはありがたい」と再開を喜びます。

種市南漁協の野田明敏（あきとし）業務部長は「水も容器もなく、これから気温が上がってくると、鮮度管理が難しい」と不安を募らせます。しかし、「みんなが頑張っている、思ったより早く再開できた」と市場で働く皆さんに目を配る野田さん。その表情に、希望の光明を見た気がしました。



種市漁港での片付け作業（3月22日）



宿戸漁港ではがれきを撤出（3月22日）



小子内漁港での漁具の撤去作業（3月24日）

ご支援に感謝します

被災以降、町をご支援いただいた皆さんをご紹介します（敬称略。受付順で3月24日分まで。国・県の支援と町職員分除く）。

■**救援物資** 宏八屋（毛ガニ2箱）東北銀行（ティッシュ200個）おのミルク工房（牛乳1,552本）鷗鳴館（総菜多数）タムラ（おにぎり多数）町木炭産業界の会（木炭10kg）アグリパークおおさわ（入浴券100枚）太田食堂（子ども用衣服1袋）葛巻町（牛乳111本）軽米町（さるなしドリンク6箱）第一ポートリー（卵6箱）おのパン工房（パン28個）NPOやすらぎ福祉会（りんご3箱、ジュース3箱、トイレトペーパー12箱、水6本）㈱大阪（灯油1,500L）日本国土開発㈱（雨がっぱ、防寒着、ブルーシート、毛布、水）、宍谷食商事（マスク6,000枚）読売新聞久慈専売所（ガソリン携行缶、ティッシュ、レインスーツ、タオル、水）新岩手農協（米100kg）

■**義援金** 明戸婦人会（5万円）洋野町退職者の会（5万円）松山勇（5万円）泥濘地区会（5万円）小井土弘（1万円）八木南地区会（1万円）萬谷博文（1万円）㈱ニチレイフレッシュファーム（30万円）大野第二中学校（1万3,000円）

義援金の受付

町は、災害復旧のための義援金を次のとおり受け付けています。皆さんのご支援をお待ちしています（義援金は、税法上の控除対象となります）。

■**受付方法** ①持参…下記役場窓口までお越しください ②現金書留…住所、氏名のほか「災害義援金」と明記してお送りください ③郵便局から振込…専用の振込用紙でお振り込みください ④銀行から振込…事前に住所・氏名をお知らせのうえお振り込みください

■**受付・問い合わせ先** 役場福祉課（種市庁舎）☎0194-65-5915 または総合サービス課（大野庁舎）☎0194-77-2112



教育行政方針

麦澤正剛教育長が「生涯学習の町づくり」に向けて2つの分野別に述べた、教育行政方針の概要を紹介します。

町議会 3月定例会で教育行政方針を述べる麦澤教育長（3月10日）



施政方針

水上信宏町長が「洋野町総合計画」に基づく6つの体系別に述べた、施政方針の概要を紹介します。

町議会 3月定例会で施政方針を述べる水上町長（3月10日）

①生涯学習の基礎づくり
生涯学習の基礎づくりのため「幼稚園教育の充実」、「学校教育の充実」の2点を重点に取り組みます。
「幼稚園教育の充実」は、次の3つの観点から施策を展開します。
・「生きる力」の基礎づくり
・家庭や地域に開かれた幼稚園運営
・幼稚園と小学校の連携強化
「学校教育の充実」は、次の9つの観点から施策を展開します。
・心の教育の充実
・学習指導の充実
・特別支援教育の充実
・情報教育の推進
・国際理解教育の推進
・健康安全教育の推進
・学校再編と通学支援
・学校施設の整備
・学校給食の推進

②生涯学習の充実
生涯学習の充実のため「社会教育」、「生涯スポーツ」、「芸術文化」の3点を重点に取り組みます。
「社会教育の充実」は、次

①住民みんなで取り組む「地域協働のまちづくり」
町民と行政が共通認識を持つよう行政情報の公開・提供を行い、多様な住民参画・協働の仕組み作りを推進するとともに、地域づくりの総合的な指針の策定を進めます。

②豊かな地域資源を生かした「いきいき産業のまちづくり」
農林業振興は、耕畜連携による安全・安心な農産物生産を目指し、担い手育成、6次産業化、地産地消の拡充、洋野牧場の有効活用、シイタケのブランド化を進め、農業所得の向上に努めます。
水産業振興は、引き続きウニ・アワビの放流支援や生産基盤の環境整備などを行い、生産性の向上を図ります。
商工業・観光振興は、補助金の創設などにより、地域資源を活用した新たな地場産業の創出を促進するほか、民泊の拡大やモデルツアーの実施、首都圏での特産品販売などで農林水産業との連携を強化し、交流人口の拡大に努めます。

の4つの観点から施策を展開します。
・家庭教育の充実
・生涯の各時期における学びの充実
・地域が持つ教育力の向上
・国際交流活動の推進
「生涯スポーツの推進」は、次の2つの観点から施策を展開します。
・健康・体力づくり実践活動の推進
・体育施設の活用推進
「芸術文化の振興」については、次の3つの観点から施策を展開します。
・芸術鑑賞事業の充実
・自主的文化活動の支援
・郷土の文化や歴史の理解促進と郷土芸能伝承活動の支援

③思いやりあふれる「健康福祉のまちづくり」
地域福祉は、町内関係団体との相互支援体制の強化を図りながら進めます。
保健・医療活動は、各種健診や介護予防事業の実施などで町民の健康増進を図るとともに、感染症予防事業や自殺対策に取り組みます。
児童福祉・子育て支援は、多様なニーズに対応するため延長保育や休日保育の充実、児童の安全な居場所の確保などに取り組みます。
高齢者福祉は、介護予防事業の推進、ふれあいサロンや介護事業所整備の支援などに取り組み、高齢者の生きがい支援と安心して暮らせる環境づくりに努めます。

④人と文化が輝く「生涯学習のまちづくり」
※次頁「教育行政方針」とのあり

⑤海・山・川の自然輝く「快適環境のまちづくり」
環境保全活動などの推進は、地域の環境美化活動の支援、大野ダム周辺の整備など

次から、施政方針と教育行政方針に基づく新年度予算の概要を紹介します。

◎東北地方太平洋沖地震の被害状況などを報告
東北地方太平洋沖地震の影響により、会期を延長して開かれた町議会3月定例会。休会が明けた3月17日の会議の冒頭、水上町長は町議会に対して町内の被害状況や町の対応状況などについて報告を行いました（写真）。
水上町長は、同日までに把握された被害によりやむを得ず工期の延長や契約額の変更必要がある事業などについて説明したあと、復旧対策への強い決意を示し、町議会に取り組みに対する理解を求めました。

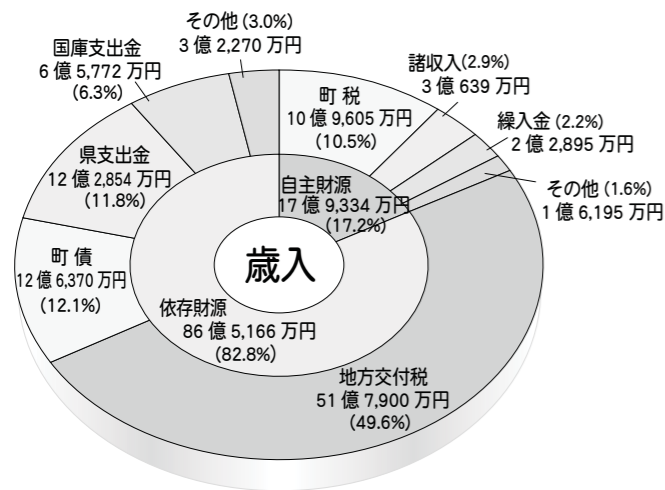


に取り組みます。
上下水道整備は、安定的な水道水の供給、下水道普及と水質向上を図ります。
環境衛生とリサイクル対策は、不法投棄の監視体制を強化し、広域的なごみ処理施設の整備に対応します。

⑥安全・安心で「暮らしやすいまちづくり」
道路・交通網の整備は、国道の新設・改良を強く要望しながら、町道についてはII路線を整備し、町営バスの利便性向上と路線バスの維持確保に努めます。
情報・通信基盤整備は、地デジ対応や超高速情報通信への普及に取り組めます。
消防・防災体制は、災害時の情報伝達システムや消防施設・車両の整備、自主防災組織の育成などを進め、広域消防や町消防団との連携を強化して消防・防災体制の強化を図ります。
生活安全対策は、消費生活の保護や防犯・交通安全対策、計画的な町営住宅の整備を進めます。

◎一般会計（行政運営の基本的経費）104億4,500万円の内訳

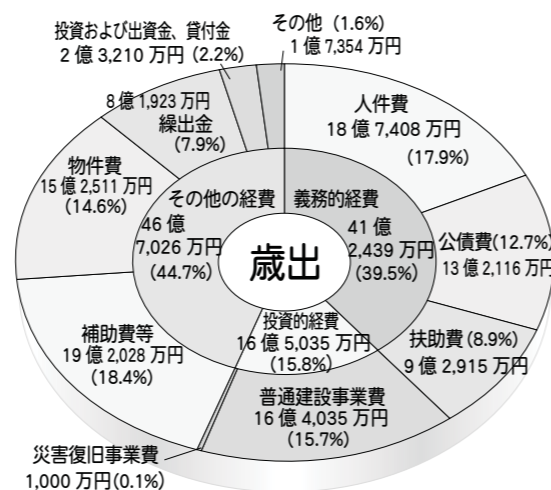
■グラフ1…歳入（入ってくるお金）



◆歳入の用語解説

- 【町税】 皆さんから納めていただく町民税や固定資産税など
- 【線入金】 財源確保のため各種基金から繰り入れるお金
- 【地方交付税】 国から地方公共団体に交付されるお金
- 【町債】 国・県に協議して借り入れるお金
- 【国庫・県支出金】 事業推進のための国や県からの補助金など

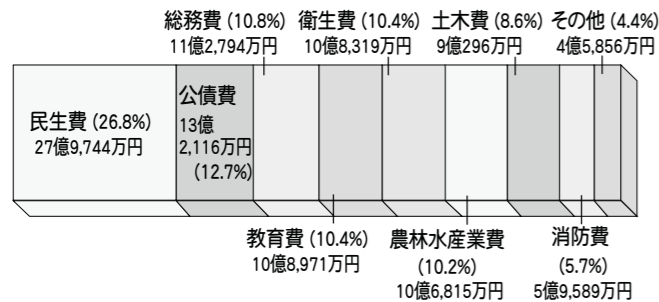
■グラフ2…歳出（使うお金）



◆歳出の用語解説

- 【人件費】 町職員の給与や町議会議員、各種委員の報酬など
- 【公債費】 町の借り入れ金を返済するためのお金
- 【扶助費】 児童や老人などを援助する医療費や子ども手当など
- 【普通建設事業費】 道路や施設などの建設に使うお金
- 【補助費等】 各種団体などへの補助金や負担金など
- 【物件費】 事務用品、賃金、光熱水費など
- 【線入金】 特別会計などへ繰り出すお金
- 【投資および出資金、貸付金】 企業会計への出資金など

■グラフ3…歳出目的別構成



■町民1人あたりでは…

- ・予算額 542,006円
 - ・町税 56,876円
 - ・借金（町債）残高 635,865円
- ※平成23年2月末の人口19,271人で計算

◎平成23年度の主な事業内容と事業費（新は新規事業）

- 【総務費】▽新地域総合整備資金貸付金（介護老人福祉施設建設分）…7900万円 ▽新町議会議員選挙執行事業…1639万円
- 【民生費】▽国民健康保険特別会計繰出金…2億7624万円 ▽新大野高齢者生活福祉センター改修事業…2560万円 ▽地域密着型介護事業所整備補助金…2億5100万円
- 【衛生費】▽新久慈広域連合火葬負担金（火葬場建設分）…1億970万円 ▽新「生」み処理機購入費補助金…40万円
- 【労働費】▽緊急雇用対策事業（雇用対策）…6115万円 ▽ふるさと雇用再生特別基金事業（雇用対策）…2909万円 ▽新新卒者ふるさと雇用促進奨励金…3000万円
- 【農林水産業費】▽新アグリパークおさわ環境整備事業…1667万円 ▽農山漁村地域整備交付金（豚舎等整備）…4億1738万円
- ▽新大野堆肥センター施設整備事業費補助金…2131万円 ▽県営大野ダム周辺環境整備事業負担金…1750万円 ▽新水産観光体験施設整備事業（宿戸地区）…1851万円
- ▽新さけ稚魚放流事業費補助金…325万円
- 【商工費】▽新快適住環境応援事業（住宅リフォーム等経費助成）…2200万円 ▽新町起業化支援補助金…250万円
- 【土木費】▽町道新設改良事業…3億8265万円
- 【消防費】▽新消防屯所整備事業（角浜地区）…2846万円 ▽新水槽付消防ポンプ自動車購入経費（大野中区）…3184万円
- 【教育費】▽新種市小学校改築事業…4303万円 ▽新大野小学校校庭排水対策等改修事業…1321万円 ▽新宿戸中学校屋外環境等整備事業…4797万円 ▽新種市学校給食センター給食運搬車購入経費…831万円

平成23年度予算

163億7,405万円

平成23年度の町の一般会計と9つの特別会計、2つの企業会計の予算が町議会3月定例会で可決されました。全会計の予算総額は163億7,405万円で、前年度に比べ1.1%の増となっています(表1)。新年度の予算の内訳や、主な事業内容とその事業費などについてお知らせします。

表1) 各会計の予算額

区分	23年度予算額	22年度予算額	前年比(%)
一般会計	104億4,500万円	100億500万円	4.4
特別会計			
国民健康保険	27億9,518万円	25億9,457万円	7.7
国民健康保険診療施設	2億1,356万円	2億900万円	2.2
老人保健	0万円	25万円	△100.0
後期高齢者医療	1億3,621万円	1億4,518万円	△6.2
魚市場事業	330万円	365万円	△9.6
簡易水道事業	1億9,257万円	1億9,147万円	0.6
公共下水道事業	4億3,909万円	4億2,753万円	2.7
農業集落排水事業	9,187万円	1億3,564万円	△32.3
生活排水処理事業	3,888万円	2,938万円	32.3
介護保険	3億9,800万円	3億5,711万円	11.5
小計	43億866万円	40億9,378万円	5.2
企業会計			
種市病院事業	11億8,718万円	14億3,735万円	△17.4
水道事業	4億3,321万円	6億6,195万円	△34.6
小計	16億2,039万円	20億9,930万円	△22.8
合計	163億7,405万円	161億9,808万円	1.1

一般会計の予算額は前年度比4.4%増。行政運営の基本的な経費である一般会計の予算額は、104億4,500万円を計上し、前年度と比べて4億400万円（4.4%）の増となりました。歳入では、町税など町が自ら収入できる自主財源が全体の17.2%、国や県から交付される補助金などの依存財源が82.8%となっており、大部分を依存財源が占めています（次ページグラフ1）。

歳入では、町税など町が自ら収入できる自主財源が全体の17.2%、国や県から交付される補助金などの依存財源が82.8%となっており、大部分を依存財源が占めています（次ページグラフ1）。

歳出では、人件費や公債費などの支出が義務付けられている義務的経費が全体の39.5%、道路や建物の工事費などの投資的経費が15.7%、補助費等のその他の経費が18.4%となっており、併せて44.7%を占めています（次ページグラフ2）。

介護事業所の整備で民生費が最大28億円

歳出では、人件費や公債費などの支出が義務付けられている義務的経費が全体の39.5%、道路や建物の工事費などの投資的経費が15.7%、補助費等のその他の経費が18.4%となっており、併せて44.7%を占めています（次ページグラフ2）。

国民健康保険や公共下水道事業など特定の事業を行う9の特別会計の予算額は、合わせて43億866万円。種市病院事業、水道事業の企業会計は、合計16億2039万円の予算額が計上されています。

■在校生は4月から種市小学校へ

平内小学校 133年の 長い歴史に幕



昭和41年に新築された現校舎。昭和48年には、つなぎ廊下を増築した



明治10年～大正8年まで使用された旧校舎。何度も増改築が行われた

INTERVIEW



6年間の思い出はどれも忘れられないもの

平内小学校 児童会長
丸井 憂真 くん

6年間で一番楽しかったのは修学旅行です。初めて行った仙台で、笹かまぼこ工場などを見学しました。一番頑張ったのは野球です。最後の春季大会で県大会に出場できるとは思っていませんでした。閉校するのは寂しいけど、平内小で過ごした6年間の思い出は、どれも忘れられないものばかりです。算数が好きなので、将来は、数学の研究をしてフィールズ賞を受賞することが夢です。



閉校記念事業実行委員会
佐々木 一雄 会長

私も平内小学校を卒業し、たくさんのおいしい思い出があります。時代の波かと思ってみても、文化の灯が消えることは、やはり寂しく思います。閉校後は、災害時の避難所、スポーツ少年団の活動場所、地域の集会所、運動公園など、地域住民に有意義に活用されることを願っています。在校生の皆さんは、新生種市小学校の児童として誇りと自覚を持ち、一生懸命頑張ってください。



平内小学校
堀米 恵利 校長

子どもたちは、これまで平内小で培ってきた自分の力を信じ、仲間を信じ、見守ってくださる皆さまのあたたかいまなざしを支えとして、それぞれの持ち味を發揮しながら成長していくものと確信しています。これまで、平内小学校の教育活動にご支援、ご協力をいただきましたすべての皆さまに感謝致します。本当に長い間、子どもたちを育てくれた平内小学校、ありがとう。さようなら。

それぞれの持ち味を發揮し成長していくと確信



平内小の校歌を歌う聴席者たち

- ① 麦澤正剛教育長に校旗を返納する堀米校長
- ② 創立百周年記念碑の隣に建てられた閉校記念碑。平内小の校歌が刻まれている
- ③ 閉校記念事業の一環で建てられた東屋。地域住民の憩いの場として使用される

平内小学校（堀米恵利校長・児童69人）の閉校式が3月20日、同校体育館で行われ、卒業生や地域住民、旧職員など約250人が出席。水上町長による式辞、青澤侑子町教育委員長による告辞の後、歴代の校長、PTA会長に水上町長から感謝状が贈られました。また、別れの言葉では、同校の卒業生でもある堀米校長が平内小への感謝と別れを告げ、児童たちは「よびかけ」と「きみに伝えたい」の合唱で、元気な声を体育館いっぱいに響かせました。

式典終了後は、閉校記念事業実行委員会による感謝状贈呈式、閉校記念碑と東屋の除幕式が行われました。感謝状贈呈式では、同実行委員会の佐々木一雄会長から、閉校記念事業や学校への協力者に感謝状が手渡されました。

明治10年に創立した同校の卒業生は、これまでに3234人。地域と共に歩んだ133年の長い歴史に幕を下ろしました。平内小学校の在校生は、この4月から種市小学校に登校します。



昭和28年度卒業生
杉下 邦夫 さん(69)

町制施行により種市町になり、記念事業が行われた時に1年生でした。町全体がお祭り騒ぎで、役場前から平内小学校まで「種市町の歌」を歌いながら行進したことを覚えています。



昭和35年度卒業生
金澤 和子 さん(62)

両親、自分、息子と、3代で通いました。自宅が学校の近くで、聞こえてくる学校行事の音で季節を感じ、子どもたちの声に元気をもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。



昭和51年度卒業生
堀米 基弘 さん(46)

家族の男は全員平内小を卒業しました。娘が種市小に入学するので、家族の女は全員種市小が母校になります。人数の多い学校で、友だちの輪を大きく広げてほしいですね。



昭和57年度卒業生
家政 真美子 さん(40)

私が入学した時ちょうど創立100周年でした。記念式典で浦島太郎の劇をやりましたね。林先生も印象深いです。オールバックでキラキラしているのに、とても字がきれいでした。



昭和62年度卒業生
金澤 静香 さん(35)

中学校や高校の校歌は忘れるのに、小学校の校歌は今でも覚えています。子どもたちには、小学校がなくなってもスポ少や地域活動などで地元を盛り上げてほしいと思います。



平成5年度卒業生
滝谷 光成 さん(29)

平内ペアーズで金澤監督から厳しくも愛のある指導を受けたことが一番の思い出です。閉校しても、地域の絆はさらに深まるよう、これからも積極的に地域活動に参加します。



平内小の沿革

- 明治10年…公立平内小学校創立
- 明治20年…平内簡易小学校と改称
- 明治25年…平内尋常小学校と改称
- 昭和16年…平内国民学校と改称
- 昭和22年…種市村立平内小学校と改称
- 昭和26年…種市町立平内小学校と改称
- 昭和36年…体育館完成
- 昭和39年…校章制定
- 昭和40年…校歌制定
- 昭和41年…新校舎完成
- 昭和48年…つなぎ廊下設置
- 昭和52年…創立百周年記念式典
- 平成9年…創立百二十周年記念式典及び祝賀会
- 平成18年…洋野町立平内小学校と改称
- 平成22年…東屋完成
- 平成23年…閉校記念碑建立、閉校記念式典

■大野第二中学校が閉校、4月から大野中学校へ

我が二中、64年間 ありがとう



現在の校舎は昭和43年に建設。「我が二中64年間ありがとう」と飾られ、閉校式を迎えた



昭和38年に当時の在校生30人と撮影された旧校舎。昭和23年に現在地に建設された

INTERVIEW



新たな環境でも力強く
歩んでいく

大野第二中学校 生徒会長
大渡 雅俊 さん

私たちが閉校のことを校長先生から知らされたのは、春の運動会の取り組みが始まった頃でした。そこから、すべての行事や取り組みに「最後の」という言葉がつき、運動会、中総体、文化祭などの行事も全校一体となって一生懸命取り組みました。これまで2401人の先輩方から受け継いだ大野二中生としての誇りを胸に、新たな環境でも力強く歩んでいきます。



閉校記念事業実行委員会
林 登代広 実行委員長

大野第二中学校の64年間の歴史と数々の実績は、地域の先輩方の苦勞と期待に支えられて作られたものです。二中が誇る卓球、陸上競技、えんぶりなどに代表される、全県に知られるまでになった体育、文化活動は、地域一丸となって取り組んできた成果です。この輝かしい財産、伝統を新しい大野中学校に継承していくことが、生徒はもとより私たちのこれからの仕事ではないでしょうか。



大野第二中学校
小原 眞一 校長

保護者の皆さまのたゆまぬ努力と地域の皆さまの絶大なご支援により、大野第二中学校は輝かしい歴史と伝統を築き上げてきました。これまで学校を支えてくださった皆さんに、心から感謝致します。新たな大野中学校の歴史の1ページを作るのは、生徒の皆さんです。本校で学んだことに誇りを持ち、新たな目標に向かって頑張ってください。我が二中、64年間ありがとう。



① 麦澤正剛教育長に校旗を返納する小原校長
② 体育館に掲げられている校歌。昭和63年度の卒業生が卒業記念で制作したもの
③ 「我が二中、64年間ありがとう」と刻まれている閉校記念碑。字を書いたのは、小原眞一校長

大野第二中学校（小原眞一校長・生徒43人）の閉校記念式典が3月21日、同校体育館で行われ、卒業生や地域住民、旧職員など約2000人が出席。これまでに2401人の卒業生を輩出した大野二中は、64年間の歴史に幕を下ろしました。大野二中は、大野一中と統合し、この4月から「大野中学校」として新たにスタートします。

午前10時から行われた式典では、水上町長による式辞、青澤侑子町教育委員長による告辞の後、歴代の校長、PTA会長に水上町長から感謝状が贈られました。別れの言葉では、小原校長と生徒会長の大渡雅俊さんが、お世話になった学びやに感謝と別れを告げました。

式典終了後は、思い出を語る会、閉校記念碑の除幕式が行われました。思い出を語る会では、感謝状や記念品の贈呈が行われ、平成12年から4年間校長を務めた日沢利光さんと同窓生代表の宇名澤秀吉さん（昭和35年度卒業）が思い出の言葉を述べました。



昭和25年度卒業生
小路合清次さん(75)

私は、創立して間もなく入学しました。学校を建てる時は、自分たちの親など地域の人々が山を拓いて建てたそうです。校庭は、私たち生徒が周りの山を整地して作り直しました。



昭和41年度卒業生
下館つな子さん(59)

3年生の時に担任だった斉藤篤先生が作ってくれた歌の詩に感銘を受けて「地域の役に立つ人になりたい」と思いました。その歌は、第三応援歌として二中に受け継がれています。



昭和49年度卒業生
長川 敏彦さん(51)

女子卓球部の先輩たちが県中総体で2位になったのに刺激されて、仲間たちと卓球に打ち込みました。大野中に行く生徒たちには、視野を広く持って将来に向かってほしいです。



昭和53年度卒業生
中村チカ子さん(47)

私たちが在学中は、まだ生徒数も多く、男女バレー、野球、女子テニス、男女卓球、など部活がたくさんありました。生徒たちには、一生懸命好きなことに打ち込んでほしいです。



昭和61年度卒業生
木村 広樹さん(39)

1年生の時に、校庭の拡張をしました。今のように重機でやるのではなく、体育の時間にクラスみんなで校庭の整地や芝生の撤去をして拡張したのを覚えています。



平成16年度卒業生
堤内 美江さん(21)

卓球部でした。毎日休まずに体育館に通って頑張りました。久しぶりに体育館のステージを見たら、文化祭で演劇をやったこととか、楽しかった思い出が次々と浮かびました。



大野二中の沿革

- 昭和22年：大野村立大野第二中学校創立。帯島小学校作業場を校舎として使用
- 昭和23年：現在地に新校舎落成
- 昭和25年：校章制定
- 昭和33年：講堂落成
- 昭和37年：校歌制定
- 昭和43年：新校舎落成記念式典・祝賀会
- 昭和62年：体育館完成、食堂新築落成式・祝賀会
- 平成8年：二中賛歌制定、創立50周年記念植樹、創立50周年記念式典・祝賀会、自主向上の石碑建立
- 平成9年：平成8年度卒業生から二中賛歌碑が寄贈される
- 平成10年：上水道完備
- 平成18年：町村合併により洋野町立大野第二中学校と改称
- 平成23年：閉校記念碑建立、大野第二中学校閉校記念式典

4行政区が統合 新行政区は「水沢」



水沢地域づくり推進部会を構成している4行政区がひとつに
(写真は昨年7月25日に行われた地域清掃活動時の集合写真)

表) 新行政区の内訳 (H23.2.28 現在)

新行政区	旧行政区	世帯数	人口
水沢	上水沢	26	89
	下水沢	37	100
	上高森	11	24
	生平	4	10
	計	78	223

水沢地域づくり推進部会として地域活動などを行っている大野地域の旧水沢小学校区

の4行政区(上水沢、下水沢、上高森、生平)が、4月から統合し「水沢」となりました(表)。町は、平成21年2月に大野地域の行政区再編を検討する委員会を設置。行政区再編懇談会や地域説明会を開催して「大野地域行政区再編計画」を提案・説明しました。計画では、当時の47行政区を17行政区に再編することを目指し、7つの行政区が

それぞれ大野中区、館山、弥栄としてスタートし、43行政区となり、今回の再編で、大野地域の行政区は40になりました。町は、引き続き統合・再編に関する資料や情報などを提供し、皆さんの合意のもとに行政区の再編を進めていきます。

■大野地域の行政区再編に関する相談・問い合わせ先：役場地域振興課(大野庁舎) ☎77-2111

福祉タクシー助成券 おおの健康の湯優待券

◎福祉タクシー助成券

町は、次の人を対象に、町が指定するタクシーの初乗り料金分が無料になる助成券を交付します。

■対象 町内に住所があり、施設に入所していない人で、次のいずれかに該当する人 ①身体障害者手帳の交付を受けていて、障がいの級別が1級または2級 ②療育手帳の交付を受けていて、障がいの程度がA ③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていて、障がいの級別が1級

■利用できるタクシー 大野タクシー、久慈タクシー、種市タクシー、トモエタクシー、ヒカリ総合交通、普代タクシー、三河タクシー、八木タクシー、陸中観光タクシー(50音順)

■申請方法 印鑑と、身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を持参のうえ、役場福祉課(種市庁舎)、総合サービス課(大野庁舎)、中野支所にある申込用紙に記入して申請してください。

■交付枚数 1カ月分で2枚とし、平成24年3月分まで交付(最大24枚)します(1回のタクシー利用ごとに1枚使えます)。 ※申請は随時受け付けますが、申請した月の分からの交付となりますので、希望する人はお早めに申請してください

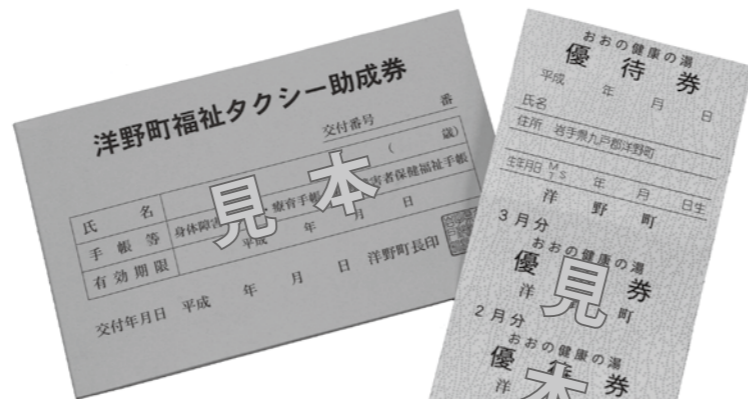
◎おおの健康の湯優待券

町は、次の人を対象に「おおの健康の湯優待券」を交付します。

■対象 町内に住所のある人で次のいずれかに該当する人 ①70歳以上 ②身体障害者手帳を受けている

■申請方法 役場福祉課(種市庁舎)、総合サービス課(大野庁舎)、中野支所で申請してください

■交付枚数 1カ月分で1枚とし、平成24年3月分まで交付(最大12枚)します(月ごとに1枚のみ使えます)



■問い合わせ先 役場福祉課(種市庁舎) ☎65-5915 総合サービス課(大野庁舎) ☎77-2112

雇用対策を進めています

■申請・問い合わせ先 役場特定政策推進室(種市庁舎) ☎65-2111



昨年の新卒者ふるさと雇用促進奨励金交付式で、水上町長から目録を贈られる大沢農村振興会の榎中三雄会長(中央)と、同会に採用された新卒者の中屋敷静香さん(金ヶ沢・左)

町は、長引く地域経済の低迷と新規高卒者をはじめとする若年者の厳しい就職状況を受けて、地域資源を活用した地場産業の振興と雇用の拡大を最重要課題として位置付け、下記の雇用対策を進めています。

今年度は新たに、役場で就職のあっせんができる「無料職業紹介所」を開設して求職者の支援に努めるほか、地域資源を活用した起業を促進する「起業化支援補助金」を創設しました。また、昨年度創設して好評だった「新卒者ふるさと雇用促進奨励金」は、今年度も継続して行います。

NEW 新卒者ふるさと雇用促進奨励金

新卒者の雇用拡大と地元就職を促進するため、新卒者を6カ月以上雇用した事業主に対し、月額5万円の奨励金を交付します。申請方法など、詳しくは問い合わせください。

■対象条件 ①新卒者(※)を6カ月以上、常用雇用者として雇用している事業主 ②雇用保険適用の町内の事業所 ③町税を完納していること ④事業主の2親等以内の親族を雇用したものではないこと ⑤その他交付要綱に定める要件を満たすこと

※新卒者：町内に住所を有し、町内の中学校または高校を卒業して1年未満の人(町内の中学校を卒業して町外の高校を卒業した人を含む)

■交付金額 新卒者一人につき月額5万円(最高で12カ月分を交付)

■受付期間 平成23年10月20日(休)まで

NEW 無料職業紹介所

地域産業の振興、雇用の拡大、Uターンを推進するため、職業安定法の規定に基づく無料職業紹介所を開設します。

無料職業紹介所では、町民や町内に居住を希望する求職者への求人情報の提供や就職相談を行うほか、町内外の事業所から独自の求人情報を受け付けて求職者への紹介やあっせんの業務も行います。

これまでと同様、公共職業安定所などの関係機関との連携を強化しながら無料職業紹介所の機能を十分活用して、新卒者や若年者の地元定着とUターンを推進するなど、きめの細かい雇用対策に取り組みます。詳しくは問い合わせください。

■開設場所 役場特定政策推進室内(種市庁舎)

■開設日時 月～金曜日 午前8時30分～午後5時30分(役場の開庁日、開庁時間と同じ)

■取扱職種 全職種

NEW 起業化支援補助金

地域産業の振興と雇用の拡大を促進するため、新たな事業の開始(起業)または新分野への進出などを行う町内の事業者に対し、補助金を交付します。申請方法など、詳しくは問い合わせください。

■対象者 町内に住所がある個人、団体、法人

■対象事業例 ①農林水産物の高付加価値化、ブランド化、販路拡大を図る新たな事業 ②食産業、木工品製造業など地域資源を活用した新たな事業 ③農工商連携、農林水産物の6次産業化を促進する新たな事業 ④そのほか地域産業の振興につながる事業

■補助金額と補助対象経費 補助金額は、補助対象経費の4/5以内の額で1件につき上限50万円。補助対象経費は、あらかじめ審査を受けた起業計画に基づく経費が対象

■受付期間 平成23年4月1日(金)～7月29日(金)まで

町職員の人事異動

4月1日付け・()内は前職

■**参事** ▽参事兼企画課長(企画課長) 信田公男▽参事兼水産商工課長(水産商工課長) 久保田藤男▽参事兼特定政策推進室長(農林課長) 掛端良二▽参事兼水道事業所長併教育委員会総務学校課学校建設推進室技術主幹(水道事業所長併教育委員会総務学校課学校建設推進室員) 小田島確民

■**課長級** ▽総務課長併選挙管理委員会事務局書記長(総務課長補佐兼財政係長兼管財係長併選挙管理委員会事務局副書記長) 下川原康文▽総務課

水産商工課主任(建設課技師) 高屋敷亮▽水産商工課主任(水産商工課主事) 籌寿仁▽地域振興課総務企画係長(地域振興課主任) 外城隆昭▽地域振興課商工観光係長(地域振興課主任) 佐々木高信▽地域振興課主任(地域振興課主事) 坂下弘樹▽地域振興課大野情報センター主任(企画課大野情報センター主任) 間澤豊▽総合サービス課課長補佐係長(総合サービス課主任) 小笠原敦子▽総合サービス課主任(総務課主任) 奥山智幸▽総合サービス課主任(福祉課主事) 船渡矢一▽農林課主任(企画課主事) 佐々木貴光▽農林課主任(農林課主事) 上岡孝幸▽建設課主任(建設課主事) 長川美代子▽会計課主査(福祉課主査) 安藤節子▽特定政策推進室特定政策推進係長(水産商工課雇用対策推進係長) 東山元寿▽国保種市病院主査(福祉課主任) 保種市病院主査(福祉課主任) 平中夏子▽中野保育園主任保育士(宿戸保育園主任保育士) 笠水上洋子▽林郷保育所主任保育士(大野保育所主任保育士) 堀岡八重子▽特別養護老人ホームうなばら荘介護係長(教

防炎推進室長(税務課収納対策室長補佐) 米内信博▽町民生活課長(教育委員会大野事務所長兼大野図書館長兼大野体育館長兼大野学校給食センター所長) 奥寺広樹▽健康増進課主幹兼大野保健センター所長(健康増進課主幹兼大野保健センター主幹兼所長補佐) 山田幸子▽地域振興課長(会計管理者兼会計課長) 奥寺昭人▽総合サービス課長兼国保大野診療所事務局長兼国保大野歯科診療所事務局長兼大野児童館長兼明戸児童館長兼向田児童館長兼林郷児童館長兼帯島児童館長(教育委員会生涯学習課長) 荒谷和彦▽農林課長(農林課長補佐兼農政係長) 野田清旨▽会計管理者兼会計課長(中野支所長兼地域振興係長) 笠月優裕▽中野支所長兼地域振興係長(地域振興課長) 長根長治▽教育委員会生涯学習課長(農業委員会事務局長) 館野政弘▽教育委員会大野事務所長兼大野図書館長兼大野体育館長兼大野学校給食センター所長(総務課防災推進室長) 長谷川一雄▽農業委員会事務局長(教育委員会総務学校課学校再編

育委員会大野図書館主任司書兼大野学校給食センター主任併税務課収納対策室主任) 久慈類紀子▽教育委員会総務学校課主任(教育委員会総務学校課主任) 高橋勝利▽教育委員会総務学校課主任(教育委員会総務学校課主事) 粒来孝次▽教育委員会総務学校課主任(教育委員会総務学校課主事) 玉澤由紀子▽教育委員会生涯学習課主任(教育委員会生涯学習課社会教育主事) 玉澤正春▽教育委員会種市図書館主任司書兼大野図書館主任司書(教育委員会種市図書館主任司書) 平留美子▽水道事業所主査(水道事業所主査) 佐々木国博▽水産商工課主任(水産商工課主事) 安藤和夫

■**主事等** ▽総務課主事(教育委員会大野事務所主事) 續石なつみ▽総務課防災推進室主事(総務課防災推進室主事補) 吹切優▽企画課主事(町民生活課主事) 竹高健治▽企画課主事(教育委員会総務学校課学校再編対策室主事兼総務学校課主事) 大粒来重之▽企画課主事

対策室長) 瀧音三男

■**課長補佐級** ▽総務課長補佐兼庶務係長併選挙管理委員会事務局副書記長兼選挙係長(総務課庶務係長併選挙管理委員会事務局選挙係長) 滝川幸弘▽総務課副主幹兼人事係長兼行政改革推進係長(総務課人事係長兼行政改革推進係長) 安藤雅則▽企画課長補佐兼情報政策係長(企画課長補佐兼企画政策係長兼情報政策係長) 佐々木安武▽町民生活課副主幹兼戸籍住民係長(町民生活課戸籍住民係長) 梨子けい子▽福祉課長補佐兼社会福祉係長(福祉課課長補佐兼社会福祉係長) 城下道幸▽福祉課副主幹兼児童福祉係長(福祉課副主幹兼児童福祉係長) 室副主幹(福祉課児童福祉係長兼税務課収納対策室主査) 種市節子▽水産商工課長補佐兼漁港復旧技術副主幹兼農村振興係長(水産商工課長補佐兼水産振興係長兼農村振興係長) 大道一男▽水産商工課副主幹兼商工観光係長(水産商工課商工観光係長) 城内英行▽地域振興課長補佐兼地域振興係長(地域振興課長補佐兼地域振興係長兼総務企画係長兼商工観

(企画課主事補) 吹切一弥▽税務課収納対策室主事(税務課付・岩手県地方税特別滞納整理機構へ派遣) 滝谷光成▽町民生活課主事(町民生活課付・岩手県後期高齢者医療広域連合へ派遣) 小林永治▽町民生活課主事(町民生活課主事補) 堀岡大介▽福祉課主事(企画課主事) 鍋久保宗▽福祉課主事(企画課主事) 大道拓也▽健康増進課主事兼種市保健センター主事(町民生活課主事) 梅村彩織▽総合サービス課主事(会計課主事) 大久保順子▽農林課主事(税務課主事) 下権谷健▽特定政策推進室主事(企画課主事) 番沢鋭治▽教育委員会生涯学習課主事(教育委員会生涯学習課主事補) 南竜也▽教育委員会大野事務所主事(総合サービス課主事) 廣内真紀▽教育委員会大野事務所主事兼大野学校給食センター主事併税務課収納対策室主事(教育委員会大野事務所主事補) 柏木良幸▽教育委員会大野図書館社会教育主事(教育委員会大野図書館社会教育主事補) 木野図書館社会教育主事補) 木村智暎

■**保健師、看護師等** ▽健康増

光係長) 高屋敷正博▽総合サービス課長補佐兼町民生活係長(総合サービス課長補佐兼町民生活係長兼福祉係長) 関口邦雄▽農林課長補佐兼農政係長(福祉課長補佐兼社会福祉係長兼税務課収納対策室副主幹) 上大澤松美▽建設課副主幹兼工務係長(建設課工務係長) 野田一仁▽国保種市病院副主幹兼管理係長(国保種市病院管理係長) 麦澤光英▽国保大野診療所副主幹兼係長兼国保大野歯科診療所副主幹兼係長(国保大野診療所係長) 奥寺江美子▽種市保育園長兼かわしり児童館長(じょうない児童館長) 岡本栄子▽八木保育園長兼おこない児童館長(教育委員会種市幼稚園主任教諭) 柴田晋子▽向田保育所長(向田保育所主任保育士) 金澤ちあき▽林郷保育所長(林郷保育所主任保育士) 坂本京子▽じょうない児童館長(かどのはま児童館主任児童厚生員) 加藤栄子▽うげ児童館長(中野保育園主任保育士) 小野弘子▽議会事務局副主幹兼庶務係長併監査委員事務局副主幹(議会事務局庶務係長併監

進課主任保健師兼大野保健センター主任保健師(健康増進課主任保健師兼種市保健センター主任保健師) 金澤保子▽健康増進課保健師兼種市保健センター保健師(健康増進課保健師兼大野保健センター保健師) 橋場里美▽国保種市病院主任看護師(特別養護老人ホームうなばら荘主任看護師) 竹高まち子▽国保種市病院主任介護福祉士(特別養護老人ホームうなばら荘主任介護福祉士) 馬場正博▽特別養護老人ホームうなばら荘主任看護師(国保種市病院主任看護師) 上平安子▽特別養護老人ホームうなばら荘主任介護支援専門員(特別養護老人ホーム) 山崎大樹▽特別養護老人ホームうなばら荘主任介護支援専門員(特別養護老人ホーム) 林下衣津子▽特別養護老人ホームうなばら荘介護支援専門員(特別養護老人ホーム) 林下衣津子▽特別養護老人ホームうなばら荘介護支援専門員(特別養護老人ホーム) 逸見嘉子

■**用務員** ▽教育委員会林郷小学校用務員(教育委員会大野第二中学校用務員) 市村藤▽教

査委員事務局係長) 笠月恵美子▽教育委員会総務学校課副主幹兼学校教育係長(教育委員会総務学校課学校教育係長) 城内克則▽水道事業所副主幹(水道事業所主査) 佐々木宏悦

■**係長級** ▽総務課財政係長(総務課主任) 向井商浩▽総務課管財係長(総務課主任) 小林伸幸▽総務課付・岩手県市町村課へ派遣(農林課主事) 秋山善一▽総務課主任(総務課主事) 濱平浩治▽総務課主任(総務課主事) 久保田昌昭▽企画課企画政策係長(企画課主任) 奥寺和博▽企画課主任(税務課主任) 糸坪真伸▽税務課主任(農林課主任) 林上英樹▽町民生活課主任(総合サービス課主任) 畑中美香▽福祉課主査兼地域包括支援センター主査(福祉課主任兼地域包括支援センター主任) 橋場洋幸▽福祉課主任(総合サービス課主任) 斉藤美奈子▽福祉課主任(国保種市病院主任) 馬場まち子▽福祉課付・久慈広域連合へ派遣(特別養護老人ホームうなばら荘介護係長) 北野澤純一▽水産商工課水産振興係長(水道事業所主査) 一郷敏宏▽

育委員会帯島小学校用務員(教育委員会林郷小学校用務員) 下川原時子

■**新採用** ▽総務課主事補 野里厚太▽企画課主事補 滝口健太▽税務課主事補 角嶋大輔▽建設課技師補 粒来直樹▽宿戸保育園保育士 久保田藤子▽向田保育所保育士 木村奈生子

■**退職者**(3月31日付) ▽畑中光男(町民生活課長) ▽中家正一(総合サービス課長兼大野保健センター所長兼国保大野診療所事務局長兼国保大野歯科診療所事務局長兼大野児童館長兼明戸児童館長兼向田児童館長兼林郷児童館長兼帯島児童館長) ▽佐藤眞里子(種市保育園長兼かわしり児童館長) ▽野田静子(八木保育園長兼おこない児童館長) ▽奥寺あさ子(向田保育所長) ▽野田順子(林郷保育所長) ▽米内庸子(うげ児童館長) ▽高橋寿子(教育委員会種市幼稚園長) ▽庭瀬サチ子(特別養護老人ホームうなばら荘主任栄養士) ▽原子内静枝(国保種市病院准看護師) ▽松橋やす子(教育委員会帯島小学校用務員)



消費生活講座が3月2日、帯島農村センターで開かれ、約20人が参加。久慈ひまわり基金法律事務所の弁護士、峯田幹大さんが、身の周りのさまざまなトラブルの事例とその対処法を紹介しました。

ト ラブルへの対処法を紹介

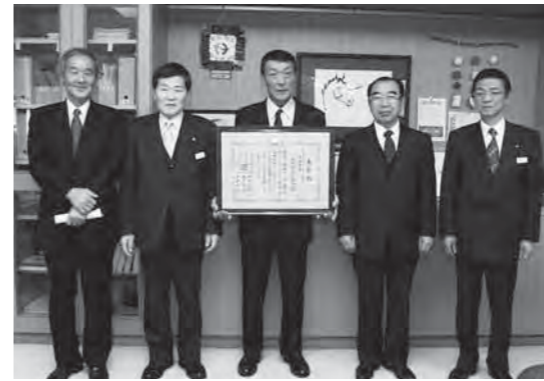
帯島地区で消費生活講座



みどりが丘保育園(七役恵園長、園児75人)は3月9日、幼年消防クラブの引き継ぎ式を行い、年長組から年中組に団旗とまといが引き渡されました。引き継ぎ式終了後は防火パレードを行い、元気に防火を呼び掛けました。

団 旗を年長組から年中組へ

みどりが丘保育園で引き継ぎ式



地域づくりなどに取り組む団体を表彰する「あしたのまち・暮らしづくり活動賞」(読売新聞東京本社など主催)で、大沢農村振興会(埜中二三雄会長)が主催者賞を受賞。県内からの受賞は同会のみとなっています。

活 動評価され県で唯一受賞

大沢農村振興会が主催者賞



「町大野地域安全推進大会」(大野地域安全推進協議会主催)が2月17日、大野農村環境改善センターで開かれ、157人が参加。意見、体験発表や講演などが行われ、交通安全や防犯への意識を高めました。

交 通安全、防犯の意識高める

大野地域安全推進大会に157人



㈱青森ポトリーは、国の補助事業を活用し平成22年度中に八木地区の農場施設に太陽光発電設備を設置しました。青野正宣代表取締役は「環境保全の取り組みで、町の畜産振興の力になりたい」と話しました。

環 境保全で畜産振興の力に

青森ポトリーに太陽光発電設備



田辺鶴瑛さんの介護講談「鶴瑛の修羅場介護日記」が3月3日、町民文化会館で行われ、約200人が来場。田辺さんは、自身の介護体験を語り、笑いを交えながら来場者たちに介護のアドバイスをしました。

介 護体験談語りアドバイス

田辺鶴瑛さんの介護講談に200人



水槽付消防ポンプ自動車車両交付式が2月25日、役場種市庁舎で行われ、水上町長が町消防団に水槽付ポンプ自動車1台を交付しました。車両は、町消防団第1分団第3部に配備されました。

第 1分団第3部に車両配備

ポンプ自動車車両交付式



NPO法人「やすらぎ福祉会」(山日誠一理事長、八戸市)と木工工房「山日クラフト」(山日代表、同市)が2月24日、町に車いすをそれぞれ1台ずつ寄贈。山日理事長は「今後も町に貢献していきたい」と話しました。

今 後も町のため貢献したい

2団体が町に車いす2台寄贈



昭和三陸津波慰霊祭(町消防団第2分団主催)が3月6日、八木地区の津波慰霊碑前で行われました。慰霊祭には、町消防団や関係者など約100人が出席。犠牲者の冥福を祈り、防災意識を新たにしました。

冥 福祈り、防災意識新たに

昭和三陸津波慰霊祭



町教育振興会角浜実践区(北野澤純一區会長)のミニコンサートが3月6日、町民文化会館で開かれました。出演者たちは、歌謡曲やアニメの主題歌などを披露し、会場からは大きな拍手が送られました。

歌 謡曲やアニメソング披露

角浜実践区がミニコンサート開催



平成22年度ひとり暮らし高齢者の集い「ふれあい交流会」(町社会福祉協議会主催)が3月3、4日の2日間、アグリパークおおさわで開かれ、延べ165人が参加。入浴や懇談会、アトラクションなどを楽しみました。

1 ひとり暮らし高齢者の集い

65人が入浴など楽しむ



昨年7月に書道の全国大会「毎日書道展」で最高賞の毎日賞を受賞した北野澤大雲(本名=純一、伝吉)さんが2月25日、受賞作品を町に寄贈。北野澤さんは「少しでも町への恩返しになればうれしい」と話しました。

北 野澤さん受賞作品を寄贈

毎日書道展の最高賞受賞作品を町へ

募集

農業委員会への意見

町農業委員会は、適正な事務を実施するため「平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)」、「平成23年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)」を公表し、意見を募集します。
■募集期間 4月20日(水)まで
■公表場所
①町ホームページ (http://www.town.hirono.iwate.jp)
②町農業委員会事務局(役場大野庁舎内)
③役場水産商工課(種市庁舎)
■意見を提出できる人 町内に住所があり、農業に従事している人
■意見の提出方法 「平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)」、「平成23年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)」のどの部分に対する意見かを記入のうえ、次の方法により提出してください。
①郵送、持参 (〒028-8

802 洋野町大野8・47・2 洋野町役場大野庁舎内 農業委員会事務局)
②ファクス (77・4015)
③電子メール (mouji@town.hirono.iwate.jp)

提出する様式は自由ですが、住所、氏名(ふりがな)を必ず明記してください。電話での意見は受け付けません。
■意見の取扱い お寄せいただいた意見は、町農業委員会の「平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」、「平成23年度の目標及びその達成に向けた活動計画」を策定するにあたり、参考とさせていただきます。また、意見に対する個別の回答、書類の返却などは行いませんのでご了承ください

■問い合わせ先 同委員会事務局(役場大野庁舎内) ☎77・2116

相談

保健相談と各種検査

久慈保健所は、保健相談と

各種検査を受け付けます。骨髄バンク登録は予約制です。電話で申し込みください。
■日時 久慈保健所(久慈地区合同庁舎)
■内容 ①エイズ迅速検査・相談、②肝炎ウィルス検査、③性器クラミジア検査、④骨髄バンク登録、⑤精神福祉相談、⑥ひきこもりの若者の小さな集まり・家族会
■日時 ①、②、③平成24年3月までの第2火曜日 午後2時〜4時または午後5時〜7時、④平成24年3月までの第2火曜日 午後2時〜4時、⑤平成24年3月までの第3金曜日 午後1時30分〜、⑥平成24年3月までの第3木曜日 午後2時〜4時
■予約・問い合わせ先 久慈保健所保健課 ☎53・4987

4月の年金相談

二戸年金事務所は、4月の「年金相談」を開催します。お越しの際は、年金手帳などの基礎年金番号が確認できるものを持参ください。相談は

ツイン6000円 ※団体宿泊も承ります
■問い合わせ先 同施設(洋野町種市23・27・19) ☎65・5735

太鼓教室発表会を中止

3月27日(日)に予定しておりました「町村合併5周年記念2011洋野町太鼓教室チャリティー発表会」は、東北地方太平洋沖地震の影響により中止となりました。皆さまには誠に申し訳ございませんが、ご了承ください。
なお、お買い上げいただいた

お知らせ

国民年金について

◎年金額と国民年金保険料
4月から、老齢基礎年金の年金額は40年加入の満額で月額6万5741円(267円減。年額78万8900円)に引き下げられ、国民年金定額保険料は、月額1万5020円(80円減)に決定されました。
国民年金の保険料は、前納や口座振替などの納付による割引制度があります。詳しくは問い合わせください。
◎国民年金の学生納付特例

た前売券は、購入窓口にて払い戻しさせていただきます。
■問い合わせ先 種市海鳴太鼓事務局 香香 ☎65・3061

はまなすマラソン中止

東北地方太平洋沖地震の影響により、今年度の「種市はまなす健康マラソン大会」の開催を中止させていただきました。参加の準備を進められていた皆さまには誠に申し訳ございませんが、ご了承ください。
■問い合わせ先 種市体育館 ☎65・4290

スパ、近日オープン
マリンスpaバたねいち(旧ステラマリ)が、近日オープン予定です。営業内容などは次のとおりです。
※物流の混乱により、営業内容が一部変更になる場合があります

水洗化・リフォーム工事に助成 快適住環境応援事業

町は、住宅の居住水準、機能、性能向上のため、水洗化工事、リフォーム工事に掛かる経費の一部を助成する快適住環境応援事業を実施します。助成を受けるには、事前(工事着工前)の申請が必要です。申請方法など、詳しくは問い合わせください。

■対象者 町内に住所がある住宅の所有者で、次の条件を満たす人。
①町税、水道料金などの滞納がない
②国、県または町のほかの制度による補助を受けていない

■対象工事 建築後、5年以上経過した住宅(集合住宅、賃貸住宅は除く)の、施工業者による工事に要する経費(外構工事、消費税相当額を除く)

■助成内容 ▷水洗化工事…工事費の5分の1以内で上限額20万円
▷リフォーム工事…工事費の5分の1以内で上限額10万円
※いずれも商品券(ダイちゃん共通商品券、おおの商品券)での助成となります

■申請・問い合わせ先 役場水産商工課(種市庁舎) ☎65-5916、建設課(大野庁舎) ☎77-2114

東北地方太平洋沖地震により被災された皆さまに 心よりお見舞い申し上げます
百鳥石材店 大野本店 ☎77-2519・久慈店 ☎52-8500

学生納付特例制度は、申請により20歳以上の学生の国民年金保険料の納付が猶予される制度です。申請をせずに保険料が未納になっていると、在学中の病気やけがで重い障がいが残ったとき、障害基礎年金が受けられない場合があります。納付が困難な場合は必ず申請してください。
申請は、毎年更新が必要です。昨年申請した人も忘れずに申請しましょう。
■申請に必要なもの 印鑑、学生証(コピー可) または在学証明書
■申請窓口 住民登録をしている各市役所・町村役場の国民年金担当窓口。本町では、役場町民生活課(種市庁舎)または総合サービス課(大野庁舎)で申請できます
■申し込み・問い合わせ先 二戸年金事務所 ☎0195・23・4111

消費生活センター開設
4月から、久慈広域消費生活センターが開設されます。専門的な知識を持った消費

町のシンボルキャラクター「ダイちゃん」
町のシンボルキャラクター「マキちゃん」

平成23年4月の行事・健康カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					4/1	
3		5	6	7		9
10	11	12	13	14	15	
17		19		21		23
	25	26	27		29	
5/1	2	3	4	5		7

種市病院の診察日程

■休日当番医 ▷内科医…4月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、5月1日(日)、4日(水)、5日(木)▷外科医…4月17日(日)、23日(土)、24日(日)、29日(金)、30日(土)、5月3日(火)

■特別診察 ▷皮膚科診察…4月7日(木)、21日(木)午後1時30分～4時30分▷糖尿病診察…4月22日(金)午後2時～ ※日程は変更になる場合があります。電話でご確認のうえご来院ください

■院長のなんでも医療相談▷日時…4月14日(木)、28日(木)午後2時～3時▷受付場所…病院窓口

■お知らせ 種市病院の2年間にわたる改良工事が終わりました。4月1日から、3階が病床数45床の一般病棟、4階が定員40人の介護療養型老人保健施設となります。引き続き町民の皆さんのご支援とご利用をお願いします。

問 国保種市病院 ☎65-2127

納税期限

固定資産税 第1期
軽自動車税 全期
納期限：5月31日(火)

問 役場税務課(種市庁舎) ☎65-5913

まちの動き・データ (平成23年2月分)

【人口】 (2月末現在、()は先月比)
総人口 19,271人 (ー24人)
男 9,352人 (ー12人)
女 9,919人 (ー12人)
世帯数 6,838世帯 (ー1世帯)

【火災・救急】 (()内は1月からの累計)
火災 0件 (0件)
救急 36件 (80件)

交番・駐在所だより

■免許証の有効期間の延長と更新手続きの休止
特定非常災害特別措置法により、下記の人は運転免許証の有効期間が平成23年8月31日まで延長されます。対象の人は、平成23年8月31日までに更新の手続きをしてください。

なお、当面の間は再交付手続きを重点的に行うため、免許証の更新手続きは休止となります。詳しくは問い合わせください。

▷対象…岩手県全域に住んでいる人で、運転免許証の有効期間の末日が東北地方太平洋沖地震の発生日(平成23年3月11日)以降の人

■免許証の再交付手続き
▷場所…県北免許センター(久慈警察署裏)
▷持参するもの…本人確認書面(保険証、住基カードなど)、印鑑、申請用写真、手数料(3650円)※本人確認書面と印鑑は、準備できない場合は持参しなくても可

問 県北運転免許センター☎52-0613、久慈警察署種市交番☎65-2133

うなばら荘への奉仕・寄贈

【寄贈】日澤綾子さん(二区)…生け花、かもめ舞踊同好会…箱ティッシュ50個

戸籍の窓口

平成23年2月届け出分(敬称略)

☆お誕生おめでとう

子どもの名前	父	母	地区
藏 虹 河(貴信・沙季)	八木南	船渡 隼(正富・香奈)	宿戸
日山 桜 心(倫・梢)	川尻	馬場 のぞみ(良介・凜子)	宿戸
北野澤 絢 音(正広・友紀)	伝吉	城下 初 音(勇・鮎紀)	有家
前角地 心 優(学・祐香)	中野南区	倉野 皇(祐也・鮎美)	上帯島

♡ご結婚おめでとう

(十文字 淳士(大沢)
伊藤 愛(八幡平市))

■ごめい福をお祈りします

神山 ソノ(角浜・102歳)
中下 龍 藏(小路合・82歳)
小村 千 世(小子内・74歳)
長根山 三(八木南町・81歳)
高屋敷 ウメ(川尻・91歳)
馬場 勝三(宿戸・88歳)
十文字 哲雄(八木南町・75歳)
高谷 由太郎(小子内・75歳)
高屋敷 直子(宿戸・27歳)
高屋敷 ヒデ(中野北区・83歳)
玉澤 キヨミ(中野北区・87歳)
高屋敷 富男(中野南区・59歳)
北俣 ソメ(蒲の口・73歳)
水上 ミエ(苗代沢・88歳)
塩倉 リサ(下帯島・89歳)
佐々木 重五郎(西大野・81歳)

※このコーナーへの掲載を希望しない人は、届け出の際にお申し出ください。

※例年4月は、転入・転出などの届け出のため、役場窓口が混み合います。届け出についての不明な点は、事前に問い合わせのうえ窓口までお越しください。

問 役場町民生活課(種市庁舎1階) ☎65-5914、総合サービス課(大野庁舎1階) ☎77-2112、中野支所 ☎67-2111

広告スペース

読んで災害のお見舞いを申し上げます。

4/10(日)「大野パークゴルフ場」オープン(予定)
※4/16出まで全コース無料開放します

◎毎週日曜・祝日は…グリーンヒルおおの2Fレストランにて「ランチバイキング」開催中

OHNO CAMPUS
おのキャンパスクラフト展示室で開催中 ☎0194-77-3202・FAX0194-77-3203

読んで災害のお見舞いを申し上げます

新聞が、教科書になる時代。

「新聞の活用」を盛り込んだ新しい学習指導要領が、小学校で2011年度から、中学校で2012年度から実施されます。お子さんに新聞を読む習慣と環境を作ってあげませんか?

—— 取り扱い新聞名 ——
岩手日報、デーリー東北、朝日、読売、毎日、日経、河北、小・中学生新聞、各種スポーツ紙ほか

購読のお申し込みは…
問 滝屋 ☎77-2546・fax77-4188

地震なんかに負けないぞ!

◎種市保健センター 3月15日の2歳児歯科健診、大野保健センター 3月17日の2歳児健診

むし歯のない子 紹介



小砂子琥音こすなこくん(小子内)



城下咲妃じげちゃん(有家)



黒坂史希くろさかくん(有家)



大久保晃斗おおくぼくん(仲野北区)



玉沢雪愛たまざわちゃん(仲野南區)



鍋久保心なべくぼくん(一區)



小向曼理こむかみちゃん(大町)



藤田悠陽ふじたくん(小路台)



長谷川伶音ながはがわくん(戸類家)



吹切ひかるふききりちゃん(宿戸)



佐々木結宇ささきちゃん(長根)



續石逞仁つづいしくん(平内)



袖山莉緒そでやまちゃん(川尻)



柳澤 楓やなぎざわくん(小橋)



中村駿也なかむらくん(二區)



太内田龍空たいうちだくん(泥濘)



黒澤結衣くろさわちゃん(泥濘)



三本木結愛みつもとちゃん(向田)



奥寺雪翔おくでらくん(新田)



坂久保康生さかひくぼくん(下組)



堤内玲那ついでちゃん(長代)



中屋敷拓斗なかやしきくん(林郷)

編集後記

▽このたびの震災で被災された皆さんにお見舞い申し上げます、ひとりでも多くの存命を祈ります▽4月から農林課に配属。お世話になった皆さんに感謝します。今の世相での異動に複雑な思いもありますが、気を引き締めて新たな仕事に励みますので、変わらぬご指導をお願いいたします。(佐々木)
▽震災で多くの人が犠牲に…。ひとりでも多くの命が助かることを祈っています。▽佐々木さんが異動。4年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。世話になります。(滝口)